

鯨ヶ崎トンネルの拡幅に対する喜びの声が届きました

昨年6月に完成した国道7号鯨ヶ崎トンネル拡幅工事の整備に伴い、地域からの喜びの声が届きましたのでご紹介したいと思います。

小 堅 小

同窓会だより

第30号

小堅小学校同窓会
H21.12.25発行

鯨ヶ崎トンネル 拡幅工事が完了する

小波渡と三瀬を結ぶ国道七号線「鯨ヶ崎トンネル」で進められていた歩道拡幅工事が今年六月に完了した。

豊浦中学校に通う生徒の安全性を確保する為にトンネルの拡幅がどうしても必要との住民の声が、かなり以前からあったが、平成十二年地元住民の署名活動から具体的運動が始まり、七年の月日を経過して平成十九年に工事着手となった。始まり当初は終日片側交互通行の為、渋滞する場面もあったが順調に工事も進み無事に完了にたどりついた。

鯨ヶ崎トンネルは昭和三十九年に併用開始、温海方面に向かう車線側のみ歩道が設置された。しかしその歩道の幅が一、二メートルと狭く自転車のすれ違いに支障を来していた。またトンネルの口径が小さく、大型車が積んだコンテナがトンネルの内

壁に傷をつける事があったという。これらの事から長年にわたる地元自治会からの強い要望もあり国土交通省酒田河川事務所が拡幅工事に着手した。完成したトンネルは全体の幅を約一メートル一〇・七五メートルにし、幅二・五メートルの歩道が確保された。トンネルの高さも約一・五メートル一五・六メートルに改良された。

工事に伴い昨年六月より片側交互通行の規制が行われていたが完成を記念して六月二十六日朝、通り初め式が行われた。完成を祝うかの様に晴天に恵まれ、豊浦中学校に通う生徒約四十名と地元住民合わせて約八十名が参加し中学生三人によるテープカットを行った。その後参加者全員で歩道を通り完成を祝った。通り初めに参加した中学生からは「歩道が広くトンネル内も明るくなり安心して通れる様になった」という声がかかれた。

こうして新しく生まれ変わったトンネルは、これからも小堅地区の玄関口として多くの人々を迎え、送りだしていく事だろう。



階段通路の手すりを補修しました

国道7号の温海地区で、海岸への階段通路の手すり部分に腐食や脱落等が見受けられました。こうしたことから、地域自治会と相談しながら補修をおこないました。補修後は、地元からお礼の電話をいただく等、大変喜んでいただきました。



補修前

↑手すりが腐食により脱落



補修前

↑手すりが錆でボロボロに



補修後

↑新たな手すりを設置



補修後

↑新たな手すりを設置

道路ふれあい月間 標語募集!

～ テーマ ～

道路は、生活の向上と経済の発展に欠くことのできない国民共有の、つまりあなたの財産です。みんなが道路と親しみ、ふれあい、常に広く、美しく、安全に、共に楽しく利用し、子孫に受け継いでいきましょう。

平成21年度推進標語 最優秀賞
「また歩こう そんな気になる道がいい」

●応募期間

平成22年3月31日(水)まで(当日必着)

●詳しいお問い合わせは

↓↓↓
http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000099.html

●担当部局：国土交通省道路局
道路交通管理課 03-5253-8111